

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和8年5月4日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会 派 名 創志会

代表者名 大越 拓也



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受 命 者	大越 拓也
出 張 先	札幌市、江別市
期 間	令和8年 4月 2日 ～ 令和8年 4月 4日 (3日間)
用 務	・ 台北駐日経済文化代表処札幌分処表敬訪問 ・ 株式会社 3eee 視察
調査 (研修) 結果等の概要	別紙参照
備 考	

注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書 (原本) とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

台北駐日経済文化代表処 札幌分処表敬訪問

開催日：令和8年4月2日

開催地：札幌市

担当者：台北駐日経済文化代表処 札幌分処長 粘 信士 氏

出席者：大越 拓也（釧路市議会日台友好議員連盟 会長）（文責）	
宮田 団（同 副会長）	
板谷 昌慶（同 事務局長）	
松橋 尚文（同 幹事）	
畑中 優周（同 相談役）	

釧路市議会日台友好議員連盟は、台湾との友好促進及び更なる関係強化を目的として2014年に設立され、これまで様々な交流を通じて釧路地域の活性化に寄与してきた。

当議員連盟は、釧路日台親善協会をはじめ関係各位と連携し、教育・文化・観光など多方面にわたる交流を推進している。近年は、釧路北陽高等学校における台湾との相互交流や修学旅行の実施など、次世代の人材育成につながる取組も継続されている。

また、釧路市の特別天然記念物であるタンチョウ及びマリモを通じた交流も行われており、台湾との関係は具体的な連携として発展している。

こうした背景のもと、釧路市議会は令和8年2月定例会において、台湾の国際民間航空機関（ICAO）及び国際刑事警察機構（ICPO）への参加を積極的に支援するよう求める意見書を可決した。本意見書は、航空の安全確保及び国際犯罪対策の観点から、台湾の国際的枠組みへの参画の重要性を踏まえたものである。

さらに、釧路市議会日台友好議員連盟として、釧路北陽高等学校の台湾修学旅行におけるチャーター便の実現及び台北市立動物園におけるタンチョウ「リーホー」のペアリングについて、釧路市長に対し要望書を提出した。

これらを踏まえ、令和8年4月2日、釧路市議会日台友好議員連盟の役員により、台北駐日経済文化代表処札幌分処を表敬訪問した。

当日は、粘信士処長と面談し、これまでの交流の経緯及び現状について説明するとともに、教育分野における人的交流、観光振興、地域間連携の可能性等について意見交換を行った。

また、釧路市議会において可決された意見書を持参し、その趣旨について説明を行った。

本訪問は、これまでの交流を踏まえた意見交換の機会として実施されたものであり、今後の交流促進に向けた相互理解の深化が図られた。

今後も、釧路市議会日台友好議員連盟として、関係機関と連携しながら、台湾との交流促進に取り組んでいく。



江別市「株式会社 3eee（ラブアリス）放課後等デイサービス事業」について 視察報告

参加議員：（市民連合議員団）宮田 団、板谷 昌慶、（創志会）大越 拓也
（報告担当：板谷 昌慶）

令和8年4月3日（金）、江別市において「株式会社 3eee（ラブアリス）の放課後等デイサービス事業」について視察を行いましたので報告いたします。本視察は、障がいのある児童や発達に特性のある児童への支援体制について理解を深めるとともに、放課後等デイサービスの先進的な運営手法や地域共生の取組を調査し、本市における障がい児支援施策の充実に資することを目的として実施しました。

当日は、株式会社 3eee 業態推進部の濱林部長、ラブアリス保育園の伊藤園長、細川管理者にご対応いただき、施設視察、事業概要の説明及び質疑応答を行いました。

【放課後等デイサービスの概要】

放課後等デイサービスは、平成 24 年の児童福祉法改正により創設された障害児通所支援事業です。発達障害や知的障害、身体障害など支援を必要とする就学児を対象に、学校の放課後や長期休暇中に生活能力の向上や社会性の育成、自立支援を行っています。

子どもの最善の利益の保障、共生社会の実現に向けた支援、保護者支援を担うとともに、学校や家庭に次ぐ「第三の居場所」として重要な役割を果たしています。

【株式会社 3eee 及びラブアリスの概要】

株式会社 3eee は、「すべての人が生きがいを感じられる社会の実現」を理念に掲げるソーシャルベンチャー企業です。高齢者福祉、障がい福祉、保育事業など幅広い事業を展開し、在宅から就労まで切れ目のない支援体制を構築しています。

今回視察した「ラブアリス」は、児童発達支援及び放課後等デイサービスを提供する施設であり、将来の自立や就労を見据えた支援を特色としています。



【視察内容】

ラブアリスでは、ソーシャルスキルトレーニング（SST）や感覚統合の考え方を取り入れた運動療育を実践し、遊びや運動を通じて社会性やコミュニケーション能力を育む支援を行っていました。

また、一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援を重視するとともに、法定基準を上

回る職員配置により、きめ細かな支援体制を構築していました。

さらに、保護者からの相談対応や送迎サービスの実施など、子どもだけでなく家庭全体を支える取組も行われていました。

【地域共生型施設としての特徴】

ラブアリスの特徴は、保育園、高齢者デイサービス、放課後等デイサービスを併設している点です。

施設内では子どもと高齢者が日常的に交流しており、世代を超えた触れ合いを通じて相互理解や豊かな学びにつながる環境が整えられていました。

障がい児支援、高齢者福祉、保育を一体的に展開することで、地域全体で支え合う「共生型福祉」を実践していることが大変印象的でした。

【視察を通じて】

放課後等デイサービスは単なる預かりの場ではなく、障がいのある子どもたちの将来的な自立や社会参加を支える重要な福祉サービスであることを改めて認識しました。

株式会社 3eee では、「生きがいを支える」という理念のもと、保育・障がい福祉・高齢者福祉を一体的に展開するとともに、行政や保育園、学校などの関係機関と密接に連携し、児童生徒一人ひとりに寄り添った支援を実践していました。

また、法定基準を上回る人員配置や、将来の就労を見据えた支援、保護者への相談支援など、利用者とその家族を支える体制は大変参考となりました。

本市においても、障がい児支援のさらなる充実に向け、福祉・教育・地域が連携した切れ目のない支援体制の構築や、多世代交流を通じた共生社会の実現に取り組む必要性を強く感じました。

今回の視察で得た知見を、今後の議会活動や政策提言に活かしてまいります。

